

恵比寿公園トイレ



外観

恵比寿公園トイレは、保育園や小学校が隣接し、ロケット型の滑り台などユニークな遊具が多くある公園のトイレ。建物には、公共施設としての耐久性を備え、プリミティブな素材でもあるコンクリートを使用している。



外観(空撮)

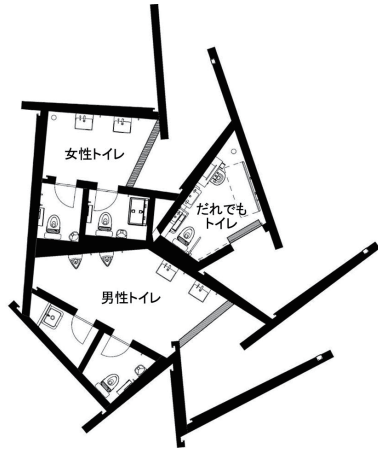
木質の質感を生かして加工した壁を15枚いたずらに組み合わせ、トイレでありオブジェクトでもある「暖昧な領域」を構築。人々が不思議な遊具と戯れるような、ユニークな関係性をデザインしている。



外観(夜景)

夜間は、間接照明の光がトイレの内外を柔らかく照らす。足元や壁と壁の間からのスリット状の光が、それぞれのトイレ空間への道標となり、夜間も誰もが安心して利用できる。

図面



男性トイレ 全体

杉の木目が美しく、コンクリートでありながらも温もりが感じられる空間。スムーズな動線上に洗面器や小便器、大便器ブースが配置されている。衛生器具は白を基調としたシンプルなデザインのものを選定。



男性トイレ 大便器ブース

男女トイレ共に、大便器は、異物が詰まったときすぐに取り除くことができる掃除口付きのパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を設置。利用者の快適性に配慮し、ウォシュレット アプリコットPを採用している。



女性トイレ

男女トイレ共に、洗面コーナーには壁掛洗面器を採用。水栓は節水タイプで、蛇口に触れることなく衛生的に手洗いができる自動水栓を設置。乳幼児連れ配慮として、すべてのブースにベビーチェアを設置している。



だれでもトイレ

だれでもトイレは、車いす使用者、オストメイト、乳幼児連れなどさまざまな利用者に対応できるスペースを確保し、オストメイト対応マルチバック、収納式多目的シートを設置。



案内板

だれでもトイレの入口前には、トイレ全体の配置図(触地図)を掲示し、トイレ内部の設備がわかるようにしている。



サイン

各空間の入口には、THE TOKYO TOILET(ザ トウキョウ トイレット)プロジェクト共通のピクトグラムを設置している。

水まわりの特長

建物の特徴

日本財団が実施する、THE TOKYO TOILET(ザ トウキョウ トイレット)は誰もが快適に使用できる公共トイレを設置するプロジェクト。そのひとつである恵比寿公園トイレは、保育園や小学校が隣接し、ロケット型の滑り台などユニークな遊具が多くある公園のトイレ。公園に入ってすぐの場所に立地するため、公園の利用を問わず、子どもから大人まで、さまざまな層の利用者がいる。トイレデザインの際、念頭に置いたのは遊具やベンチや樹のように何気なく公園に佇むオブジェクトとしての在り方。日本のトイレの起源である縄文時代早期の川屋(廁:土で囲められたもの、木材を結び付けてつくったものなど、極めてプリミティブで質素なもの)にインスピレーションを得て、コンセプトを「現代の川屋(廁)」とした。

水まわりの特長

各トイレへは、建物の壁と壁の間を導入としている。トイレは、男性・女性・だれでもトイレの3つ空間で構成されており、男性トイレ・女性トイレは、スムーズな動線上に洗面器や大便器ブースが配置されている。だれでもトイレは、車いす使用者、オストメイト、乳幼児連れなど、さまざまな利用者に対応できるスペースを確保し、収納式多目的シートなどを完備。また利用者の快適性に配慮して、すべてのトイレにウォシュレットを設置している。衛生器具は白を基調としたシンプルなデザインのものを選定し、床をコンクリート仕上げとすることで、メンテナンスのしやすさを考慮するなど、公共施設として長期間にわたり清潔に使用できるよう、維持管理まで配慮している。

建築概要

名称	恵比寿公園トイレ
所在地	東京都渋谷区恵比寿西 1-19-1
施主	日本財団
設計	片山正通／株式会社ワンダーウォール
設計・施工	大和ハウス工業株式会社
竣工年月	2020年7月
建築面積	37.5㎡
延床面積	37.5㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上1階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS497BC
ウォシュレット アプリコットP (温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUPR
自動洗浄小便器:UFS910JS／壁掛洗面器:L710CM
台付自動水栓:TENA12F／水石けん入れ:TLK05202J
オストメイト対応マルチバック:XPSA73C71WW
収納式多目的シート:EWC520ARR／ベビーチェア:YKA15R、YKA16R
ベビーシート:YKA25R